



2021年9月7日

日本鉄道労働組合連合会

J R 連 合 青 年 ・ 女 性 委 員 会 第 30 回 定 期 総 会

沖島議長を中心とした新役員体制を確立！

9月4日、JR連合青年・女性委員会は、高松市内において、第30回定期総会を開催した。総会は、コロナ感染予防のためリモート出席を認める形で運営し、全国から約90人の仲間たちが参集した。「心ひとつに～仲間とともに明るい未来へ～」をスローガンに掲げ、向こう1年間の活動方針を決定した。JR連合の基本組織からは茨山市朗会長、宮野勇馬企画部長（青年・女性委員会担当）、また、宮野部長の前任の同委員会担当であったJR四国労組の中村鉄平書記長が出席した。



冒頭、鶴石貢議長（JR西労組）は挨拶に立ち、「新しい『当たり前』を創る」という意気込みで取り組みを行ってきた、と2年間を総括し、この間の取り組みの成果と課題を述べつつ、各組織・各組合員の理解と協力に謝意を表した。さらに、安全確立、政治、青年・女性委員会活動について所信を述べた。

幹事会から経過報告の後、青年・女性委員会の行動指針である「Action Concept 2nd」にもとづく活動方針として、2021年度の具体的な取り組みなどを提起し、8人の総会委員・特別委員から、安全・組織・政策やユースラリーなど、提起した方針を補強する熱意のこもった発言があった。各幹事からの答弁を経て、島口明典事務長（JR東海ユニオン）が総括答弁を行った。その後、新役員体制についても提起され、活動方針とともに満場一致で決定した。

役員改選では、議長としてJR連合青年・女性委員会を2年間に亘り牽引してきた鶴石議長のほか、島口事務長、菊池春香幹事（JR東海ユニオン）、池原匡哉幹事（JR四国労組）、杉本涼幹事（JR九州労組）が退任した。また、新たな役員として、沖島裕章議長（JR西労組）、三浦寛頭事務長（JR東海



沖島新議長

ユニオン）、斉藤道子幹事（JR東海ユニオン）、矢野宏樹幹事（JR四国労組）、稲葉稜幹事（JR九州労組）を選出し、新体制を確立した。



最後に総会アピールを採択し、沖島新議長の掛け声のもと団結がんばろうで総会を締めくくった。